

# かけはし



平成26年度学校だより  
大府市立共和西小学校  
27年3月19日号

## 校長の 話の巻

3月3日は、「6年生を送る会」でした。この日は、5年生が大活躍した日でもありました。「6年生を送る会」は、毎年5年生の担当です。

会が始まる直前に、会場に着くと、5年生の実行委員たちが、そわそわと最後の点検中。司会の方法を最終チェックしたり、飾りの物を微調整したりと。「そわそわ感」はつまり、「会を成功させよう」との気持ちの表われです。実行委員の子たちの意気込みが、それら一つ一つの動きから、びんびんと伝わってきました。

6年生を拍手で迎え、オープニングセレモニー、各学年の出し物と続きます。

オープニングセレモニーでは、5年生の熱演が光り、会場のムードを盛り上げます。各学年の出し物も、呼びかけと歌やダンスに留まらず、縄跳びやリコーダー演奏などを効果的に取り入れたりしての、バラエティーに富んだもの。進行役が、巧みな司会でそれぞれの出し物を紹介しながら、会は和やかに進みました。いよいよクライマックスは、5年生の出し物。さすがに最高に出来上がった状態！。もちろん先生たちの出し物も絶好調。

とこんな風に、どの学年も、心を込めての6年生への贈り物ができました。6年生への想いをしっかりと込めることができたのも、学校生活のあらゆる場面で、1～5年生までのみんなに、6年生が一生懸命に働く姿、下の学年の子たちを思いやりながらリードする姿、仲間を大切にしながら生活する姿などを示してきたからなのです。

3月3日は、6年生から5年生にバトンがしっかりと引き継がれた瞬間であると、確信することができました。4年生はまた4年生で、「次は自分たちがやるんだ。」という気持ちを新たにしました。こうして、目には見えないけれど、気持ちのバトンが手渡され、新しい伝統が生まれたのです。

元気溢れる6年生。仲間意識が強く団結力のある6年生。弱い立場の子に優しくできる6年生。たくさんの良さを栄養として、中学校でもきっと大きく羽ばたくことでしょう。健康に気をつけ、自分の信じる道を力強く歩んでいってくれることと信じています。



5年生はりきっているでショー



6年担任扮する  
アナとオラフも登場



楽しんでいますか6年生

## おめでとう 賞

卒業式リハーサルの中で、6年生に皆勤賞と精勤賞を渡しています。

皆勤賞（六年間欠席0）

倉田 紗弓, 徳岡 正之, 深谷 奈美



精勤賞（六年間欠席5日まで）

小倉 悠暉, 戸田 実萌里, 富松 愛未, 早川 綾, 早川 兼人  
山口 航平, 竹本 千紗, 藤川 陽向, 松本 隼輔, 山口 萌花

お待たせいたしました。新美南吉童話賞「くまくんのお手紙」（2年 金澤佳音作）のつ・づ・き

何日かたって、うさちゃんから手紙がとどきました。ちずと日にちが書いてあるだけでした。ちずを見ながら歩いていくと、あるおうちにつきました。そうっと中に入ってみると、まっくらなおへやです。くまくんは、ちょっとこわくなって、なきそうになりました。

とつぜん、へやが明るくなりました。

「おたんじょう日おめでとう！！」

うさちゃんのこえが聞こえました。くまくんはびっくりしています。

「くまくん、ごめんね。今までじゅんぴをしていたんだよ。おへやをかざりつけて、ケーキのざいりょうを買って、毎日ケーキを作るれんしゅうをしていたの。」

くまくんはじぶんのたんじょう日をわすれていたのです。

「うさちゃんありがとう。おこってごめんね。」

くまくんはなきながら、わらいました。

二人はやっぱりなかよしです。うさちゃんが作ったケーキは、くまくんが大すきなはちみつのケーキでした。二人でなかよく食べて、いっぱいあそびました。

「またお手紙書くからね。」

やくそくをして、くまくんはかえりました。

「つぎは、うさちゃんのたんじょう日に会いたいな。」

低学年の部で、一番いい賞をいただいた童話です。最後のどんでん返しとうさちゃんがくまくんの内緒で誕生祝いの準備をしていたことが、お手紙から分かる仕掛けになっていることが、審査員をうならせた、ということです。

温かく育てくださる家庭、パトロール隊や飼育・図書・お花のボランティアや黒

子隊、各学年への学習支援など、保護者や地域の皆様が日頃よりしっかりと学校を支えてくださったからこそ、子どもたちは大変健やかに大きくなることができました。ありがとうございます。心より感謝申し上げます。本年度、最終号とさせていただきます。

## おかげさまで 保護者・地域の皆様

